

ツアー番号
LKSP43VXZ3

クラシック・スリランカ（20日間）

20日間・19泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーは、スリランカの古典的なコースを網羅した20日間の旅で、首都コロンボから南海岸を下り、山岳地帯に入り、乾燥地帯の野生動物公園と文化的中心地を横断し、北東海岸へ向かい、ネゴンボに戻って出発します。植民地時代の港町、紅茶地帯の隠れ家、古代の岩の砦と洞窟寺院、2つの国立公園、トリンコマリー周辺のビーチでの長期滞在を網羅しています。

旅行者は1回の旅で島のランドスケープと歴史の幅広いサンプルを得られます。ゴール要塞と海岸線、ウダワラウェとガル・オヤの野生動物サファリ、キャンディの寺院と庭園、ヌワラ・エリヤの山駅の特徴、ダンブッラとシギリヤの古代遺跡、ニラヴェリとピジョン・アイランドでのビーチタイム、そして漁港のネゴンボです。このペースにより、ハイライト間を急ぐのではなく、各地域に腰を落ち着けることができます。

ツアーは全体を通して専用車とシャフロー・ガイドで運行されるため、ゴールでのサイクリング寄り道、ガル・オヤ近くのサンライズ・トレッキング、トリンコマリーでの水上での追加時間など、旅行者の関心に合わせて停止時間を調整できます。



日程詳細

1日目 空港 → コロンボ

ツアーはまず首都コロンボの見学から始まり、歴史的建造物やショッピング街を巡ります。



コロンボ市内観光

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館など、歴史的な見どころを訪れます。

Gihanud2001 · CC0



インディペンデンス・スクエアとレース・コース

インディペンデンス・スクエアやレース・コースのショッピングモール、ブティックやデザイナーズショップを散策します。

Charaka Ranasinghe · CC BY 2.0

2日目 コロンボ → ガッレ

かつてポルトガルとオランダの拠点であったガッレへ向かい、要塞と旧市街を探索します。



ガッレ要塞

アジアでも有数の保存状態を誇る要塞を歩きます。石畳の道には今もオランダ語の名残が見られます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

海洋博物館とガッレ国立博物館

海洋博物館、ガッレ国立博物館、そして灯台を訪れ、要塞の歴史をより深く知ることができます。

ガッレ・サイクリングツアー

ご希望の方には、ガッレを巡るサイクリングツアーもご用意しています。

3日目 ガッレ → アハンガマ → コガラ → ガッレ

ガッレからの日帰り旅行で、茶の生産と南部海岸の伝統的な高床式漁師の姿を見学します。



ハンドゥヌゴダ茶工場

「ヴァージン・ホワイト・ティー・ファクトリー」として知られるこの工場では、人の手を触れずに摘まれ加工される有名な茶の製法を学び、紅茶とチョコレートケーキの試食、茶葉の購入もできます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



コガラの高床式漁師

コガラの海岸沿いで、竿の上に腰掛けて漁をする漁師たちの姿を見学し、何世代にも渡って受け継がれてきたこの漁法について話を聞きます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

4日目 ガッレ → ウダワラワ

朝食後、ウダワラワへ移動してチェックインし、翌日のサファリに備えてゆっくりとお過ごしいただきます。

5日目 ウダワラワ → ハプタレ

午前中はウダワラワでサファリを楽しみ、その後、丘陵地の絶景ポイントと植民地時代の名所が残るハプタレへ移動します。



ウダワラワ国立公園

1970年代に野生生物保護区として設立されたこの公園の湿地、森林、草原を3時間かけて巡るサファリ。水鳥、スリランカゾウをはじめ、様々な哺乳類、爬虫類、蝶などが見られます。

AntanO · CC BY-SA 4.0



リプトンズ・シート

スリランカで最も有名な展望スポットの一つで、ウバ州、サバラガムワ州、中央州、東部州の景色を一望できます。

Kapidis (talk). The original uploader was Kapidis at English Wikipedia. · CC BY-SA 3.0

アディシャム・バンガロー

1900年代初頭に建てられたチューダー様式の邸宅で、敷地内を自由に散策できます。

セント・アンドリュース教会

ネオ・ゴシック様式の教会で、付属の墓地には多くの英国人茶園経営者が眠っています。

6日目 ハプタレ → エッラ → ハプタレ

茶畑や絶景ポイント、植民地時代の鉄道遺産が残るエッラを1日かけて探索し、その後ハプタレへ戻ります。



リトル・アダムス・ピーク

鮮やかな緑の茶畑や岩場を通り抜け、リトル・アダムス・ピークの景色を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチ・ブリッジ

橋を歩いて渡りながら、その建設にまつわる物語を聞きます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

ループ状の珍しい線路構造で知られる駅でハイキングを終えます。

A.Savin · FAL

7日目 ガル・オヤ（7〜8日目）

スリランカで最も辺境かつ訪れる人の少ない原生地域の一つ、ガル・オヤで2日間を過ごし、野生生物と自然の景観に身を委ねます。

ガル・オヤの原生自然

公園の豊かな野生生物を探索し、訪れる人の少ない手つかずの大自然と触れ合います。

ガル・オヤ・ジープサファリ

専門のナチュラリストガイドとともにジャングルをジープで巡り、ハヌマンラングール、鹿、鳥類、小型哺乳類、象、爬虫類、そして運が良ければ豹を観察します。

9日目 ガル・オヤ → キャンディ

キャンディへ移動し、夜には文化舞踊ショーを鑑賞します。その前には早朝のトレッキングも選択可能です。

モンキー・マウンテン・トレッキング

早朝にロッジ正面の断崖まで2時間かけて登るオプションのトレッキングで、森に覆われた谷の広大な景色を眺めることができ、日の出の時間に合わせるのが理想的です。



キャンディ文化舞踊ショー

火の踊り、剣の舞、太鼓に合わせて踊るキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって披露するパフォーマンスです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

10日目 キャンディ

キャンディで最も有名な宗教的名所と植物園を訪れる1日です。



仏歯寺

仏陀の聖なる歯を祀るために16世紀に建てられたユネスコ世界遺産で、彩色された広間、彫刻の施された柱、金色の仏像が見られます。

A.Savin · FAL



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に開園したこの植物園には、ラン、香辛料、薬草樹木など4000種以上の植物が植えられており、カノンボールツリーや吊り橋も見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

11日目 キャンディ → ヌワラエリヤ → キャンディ

茶の産地の中心に英国人が築いた高原避暑地、ヌワラエリヤへの日帰り旅行です。



ヌワラエリヤの町

ジョージアン様式からクイーン・アン様式まで様々な建築の家々が並び、英国国教会の教会、ゴルフコース、手入れの行き届いた公園を備えた、まるで英国の田園地帯を再現したかのような町で、涼しく爽やかな空気を保つ高地に位置しています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

12日目 キャンディ → マータレ → ダンブッラ

スリランカのスパイスの都マータレを経由して、古代の洞窟寺院が残るダンブッラへ向かいます。

ユーフォリア・スパイス＆ハーバルガーデン

マータレ近郊にあり、自然の熱帯気候の中で育つハーブやスパイス畑を巡る学びの多いスパイスツアーです。



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にまで遡るこの複合施設には、仏陀ゴータマの生涯を描いた古代壁画や、5つの主要な洞窟（神王の洞窟や大王の洞窟を含む）に数百体の仏像や神像が安置されており、外には巨大な黄金の仏像も見られます。

Lankapic · CC BY 2.5

13日目 ダンブッラ → シギリヤ → ダンブッラ

シギリヤ・ロック・フォートレスに登り、午後は近隣の村での暮らしを体験します。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王が築いたこの岩の要塞に登り、ライオンの爪の形をした門を通って、有名な壁画、段々畑の庭園、今も機能する貯水池、宮殿跡を見学します。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村の暮らし体験

近くの村を訪れ、穏やかな湖をカタマランで巡るサファリを楽しみ、水田を歩き、蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食をいただきます。

14日目 ダンブッラ → トリンコマリー

トリンコマリーへ移動する途中、古代寺院、ポルトガル・オランダ時代の要塞、ビーチ、仏教遺跡を訪れ、ホエールウォッチングも楽しめます。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちにも称えられた古代寺院で、寺院の歴史を描いた壁画、紀元前1580年に遡る洞窟聖堂、そして伝説によればここで礼拝を行ったとされるラーヴァナ王の巨大な像があります。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



トリンコマリー要塞

1624年にポルトガルによって建てられ、後に解体された上で、破壊されたコネスワラム寺院の石材を用いてオランダによって「フォート・フレデリック」として再建されました。

Kondephy · CC BY-SA 4.0



ニラベリ・ビーチ

スリランカで最も有名なビーチの一つで、金色の砂浜、椰子の木、透明な水が特徴です。10世紀のタミル語碑文には、この地がコネスワラム寺院へ寄進された土地であると記されています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

かつて古代タミル仏教の中心であった村で、ギリハドゥ・セーヤ仏塔は仏陀が二人の商人に毛髪の遺骨を授けたとされる場所を示しており、ヴァンニヤール族の首長の要塞跡も残っています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ホエールウォッチング

資格を持つナチュラリストの案内のもと、南海岸沖でシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを観察できる、環境負荷の低いツアーです。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

15日目 トリンコマリー

ピジョン島へ日帰り旅行し、サンゴ礁と鳥類を観察します。



ピジョン島国立公園

サンゴ礁に囲まれた大小2つの島から成り、岩ハトの繁殖地であり、多種のサンゴや海洋生物が生息しています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

16日目 トリンコマリー（16〜18日目）

トリンコマリーのビーチで3日間のんびりと過ごし、夕日やウミガメ観察、ウォータースポーツを楽しむ時間です。



トリンコマリーのビーチ

砂浜でくつろぎ、海に沈む夕日を眺め、産卵に訪れるウミガメを探してみましょう。

Kondephy · CC BY-SA 4.0



ウォータースポーツ

ビーチ沿いではジェットスキーやウィンドサーフィンなど、様々なウォータースポーツを楽しめます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

19日目 トリンコマリー → ネゴンボ

南へ移動してネゴンボへ向かい、活気ある漁港の様子を見学します。



ネゴンボの漁村

地元では「レラマ」として知られる、国内最大級の屋外魚市場です。地元の漁船団が水揚げする様子や、卸売業者、小売業者、客たちが活気と匂いに包まれながら取引する様子を見学できます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

20日目 ネゴンボ → バンダラナイケ国際空港

朝食後、チェックアウトして空港へ向かい、帰国の便にご搭乗いただきます。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.